

# 社会資本総合整備計画 事後評価シート

大津地区の地域力強化及び人と環境に優しい生活空間の整備

平成29年3月22日  
神奈川県 横須賀市

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29 年 3 月 22 日

計画の名称	大津地区の地域力強化及び人と環境に優しい生活空間の整備			
計画の期間	平成24年度 ～ 平成27年度 (4年間)	交付対象	横須賀市	
計画の目標				

大津地区は横須賀市東部に位置する、古くからのまちがさらに発展した地域で、住民には地域のつながりを強める取り組みや地域福祉を高める活動への意欲が高く、それを支える拠点としてのコミュニティセンターの充実が求められている。また、近隣の緑地部分の保全、管理を求める声も寄せられている。  
 このような状況を受け、コミュニティセンターの移転・拡充と隣接緑地の保全を行い、地域力の強化と快適な生活空間の確保を目指す。

**計画の成果目標 (定量的指数)**

- ・大津コミュニティセンターの利用者数を67,000人/年 (H20～H22平均) から77,000人/年 (H28) に増加させる。
- ・大津コミュニティセンターに対する満足度を332ポイント(H23)から382ポイント (H28)に向上させる。
- ・大津地区における住民一人当たりの緑地面積 (都市緑地・都市林) を0.97㎡/人 (H22末) から1.04㎡/人 (H25末)に増加させる。

**定量的指標の定義及び算定式**

	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H28末)							
① 大津コミュニティセンターにおける利用者数を把握する。	67,000人/年	-	77,000人/年							
② 大津コミュニティセンターに対する満足度のアンケート調査を行う。	332ポイント	-	382ポイント							
③ 大津地区における緑地の面積、及び地区人口を計測する。	0.97㎡/人 (4.18ha) (4.3万人)	-	1.04㎡/人 (4.48ha) (4.3万人) (H25末)							
<b>全体事業費</b>	合計 (A+B+C)	1,533.6百万円	A	1,401.4百万円 (内提案分: 0百万円)	B	132.2百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

## 事後評価

**○事後評価の実施体制、実施時期**

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
計画策定主体 (横須賀市市民部大津行政センター) が事後評価を実施	平成28年度
	公表の方法
	横須賀市ホームページに掲載

**1. 交付対象事業の進捗状況**

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	都市再生	一般	横須賀市	直接	横須賀市	大津町地区都市再生整備計画事業	地域交流センター 87ha	横須賀市						1,268.4	
1-A-2	公園	一般	横須賀市	直接	横須賀市	横須賀市吸収源対策公園緑地事業 (大津地区)	用地買収、施設整備 0.3ha	横須賀市						133.0	
合計													1,401.4		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-B-1	道路	一般	横須賀市	直接	横須賀市	市道1848号線拡幅事業	W=2.3~11.0m L=154.9m	横須賀市						104.2	
1-B-2	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	大津排水区污水管ほか築造	○200~350mm L=144.6m	横須賀市						28.0	
合計													132.2		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
1-B-1	地域交流センター建設等に伴う交通量の増加に対応するため隣接する道路を拡幅し、快適な生活空間の確保を図る。														
1-B-2	地域交流センター建設等に伴う排水量の増加に対応するため污水管及び雨水管を新設し、快適な生活空間の確保を図る。														

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業個所)	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
									合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
<b>2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況</b>															
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況				本計画では、評価指標として「大津コミュニティセンターの利用者数」、「大津コミュニティセンターに対する満足度」、「大津地区における住民一人当たりの緑地面積」を設定した。これら3指標とも目標を達成しており、大津コミュニティセンターの建て替え等の事業の効果が確認された。											
II 定量的指標の達成状況	指標① (センターの利用者数)	最終目標値	77,000人/年	目標値と実績値 に差が出た要因	コミュニティセンターの新築により、当初想定より施設の利便性向上、生涯学習の充実等が図られたことで利用者数の増加に寄与し、最終目標値の77,000人/年を上回ったものと考えられる。										
		最終実績値	106,400人/年 (見込)												
	指標② (センターに対する満足度)	最終目標値	382ポイント	目標値と実績値 に差が出た要因	コミュニティセンターの新築により、施設が新しく、また広くなるとともに、バリアフリー化が図られ「神奈川県バリアフリー街づくり賞」を受賞した。このように当初想定より利便性が向上したことや生涯学習の充実等が図られたことで満足度の向上に寄与し、最終目標値の382ポイントを上回ったものと考えられる。										
		最終実績値	564ポイント (確定)												
	指標③ (1人当たり緑地面積)	最終目標値	1.04㎡/人	目標値と実績値 に差が出た要因	本計画のなかで大津三丁目緑地を整備したほか、地区内に緑地1箇所、都市林1箇所が新たに整備されたことから緑地面積が想定以上に増加し、最終目標値の1.04㎡/人を上回った。										
		最終実績値	1.29㎡/人 (確定)												
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)															
<b>3. 特記事項 (今後の方針等)</b>															
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津コミュニティセンターの建て替えなど地域活動を支える拠点の整備は概ね完了したため、次期社会資本総合整備計画の策定は行わない。</li> <li>・今後は、コミュニティセンターを活用して地域活動を推進するとともに、生涯学習の機会を提供し、地域力の強化を図ることが必要である。</li> </ul>															

(参考様式3)

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	大津地区の地域力強化及び人と環境に優しい生活空間の整備		
計画の期間	平成24年度 ~ 平成27年度 (4年間)	交付対象	横須賀市

